



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年7月28日

上場会社名 鳥居薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4551 URL <http://www.torii.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松尾 紀彦
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 千葉 昌 TEL (03)3231-6811
 四半期報告書提出予定日 平成23年7月29日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	11,776	3.5	1,137	△36.9	1,179	△36.8	703	△27.4
23年3月期第1四半期	11,378	5.9	1,802	4.8	1,865	4.5	970	△2.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	24 87	—
23年3月期第1四半期	34 27	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	84,732	74,362	87.8
23年3月期	84,885	74,246	87.5

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 74,362百万円 23年3月期 74,246百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	20 00	—	20 00	40 00
24年3月期	—				
24年3月期(予想)		20 00	—	20 00	40 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	24,400	8.7	1,300	△57.6	1,400	△55.7	700	△59.9	24 73
通期	48,800	7.6	2,700	46.4	2,900	43.9	1,300	38.7	45 93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

24年3月期1Q	28,800,000株	23年3月期	28,800,000株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

24年3月期1Q	498,342株	23年3月期	498,302株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

24年3月期1Q	28,301,694株	23年3月期1Q	28,302,380株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。（かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。）

◇ 薬事法その他の法令または規制の変化

◇ 薬価の改定

◇ 副作用の発現

◇ 研究開発の遅延または中止

◇ 製商品の供給停止

◇ 訴訟の提起

業績予想の前提となる仮定等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報

(4) 業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 研究開発活動	2
(4) 業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
【第1四半期累計期間】	5
(3) 継続企業の前提に関する注記	6
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	6

※ 当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間の売上高は、11,776百万円と前年同期に比べ398百万円(3.5%)増加しました。

主要な製品・商品の販売状況につきましては、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」は2,256百万円と前年同期に比べ638百万円(39.4%)増加したほか、「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」は2,276百万円と前年同期に比べ327百万円(16.8%)増加しました。一方、「注射用フサン(蛋白分解酵素阻害剤)」は1,228百万円と前年同期に比べ330百万円(21.2%)減少しました。

費用面におきましては、売上原価は4,834百万円と前年同期に比べ205百万円(4.4%)増加し、販売費及び一般管理費は研究開発費が増加したこと等により5,803百万円と前年同期に比べ858百万円(17.4%)増加しました。

以上の結果、営業利益は1,137百万円と前年同期に比べ665百万円(36.9%)減少し、経常利益は1,179百万円と前年同期に比べ685百万円(36.8%)減少しました。四半期純利益につきましては703百万円と前年同期に比べ266百万円(27.4%)減少しております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の総資産は、84,732百万円と前事業年度末に比べ153百万円(0.2%)減少しました。これは、商品及び製品は1,120百万円、現金及び預金は1,038百万円増加しましたが、有価証券は1,579百万円、キャッシュ・マネージメント・システム預託金は811百万円減少したこと等によるものです。

負債につきましては、10,369百万円と前事業年度末に比べ269百万円(2.5%)減少しました。これは、買掛金は1,743百万円増加しましたが、未払法人税等が587百万円、賞与引当金が546百万円減少したこと等によるものです。

純資産につきましては、74,362百万円と前事業年度末に比べ116百万円(0.2%)増加しました。これは、主に利益剰余金が137百万円増加したことによるものです。

(3) 研究開発活動

当第1四半期累計期間の研究開発費の総額は982百万円であります。

(4) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、前回発表(平成23年5月11日「平成23年3月期決算短信(非連結)」)の予想数値を変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,773	12,812
キャッシュ・マネージメント・システム預託金	12,071	11,260
受取手形及び売掛金	18,435	18,676
有価証券	19,580	18,000
商品及び製品	3,332	4,453
仕掛品	358	545
原材料及び貯蔵品	1,685	1,344
その他	1,326	1,369
流動資産合計	68,563	68,462
固定資産		
有形固定資産	5,671	5,601
無形固定資産	683	665
投資その他の資産	9,968	10,003
固定資産合計	16,322	16,270
資産合計	84,885	84,732
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,816	5,560
未払法人税等	1,050	462
賞与引当金	1,158	611
役員賞与引当金	50	14
返品調整引当金	3	2
その他	3,532	2,781
流動負債合計	9,612	9,433
固定負債		
退職給付引当金	507	421
その他	520	514
固定負債合計	1,027	935
負債合計	10,639	10,369
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,190	5,190
資本剰余金	6,416	6,416
利益剰余金	63,397	63,534
自己株式	△857	△857
株主資本合計	74,146	74,283
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	100	79
評価・換算差額等合計	100	79
純資産合計	74,246	74,362
負債純資産合計	84,885	84,732

(2) 四半期損益計算書

【第1四半期累計期間】

(単位:百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	11,378	11,776
売上原価	4,629	4,834
売上総利益	6,748	6,941
販売費及び一般管理費		
販売促進費	806	865
給料及び手当	1,101	1,136
賞与引当金繰入額	497	487
研究開発費	411	982
その他	2,128	2,331
販売費及び一般管理費合計	4,945	5,803
営業利益	1,802	1,137
営業外収益		
受取利息	35	29
受取配当金	16	15
為替差益	7	—
その他	10	4
営業外収益合計	69	49
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	6
その他	6	0
営業外費用合計	7	7
経常利益	1,865	1,179
特別損失		
固定資産除却損	6	0
災害による損失	—	28
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	143	—
特別損失合計	149	29
税引前四半期純利益	1,715	1,150
法人税等	745	446
四半期純利益	970	703

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期会計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

該当事項はありません。



2012年3月期 第1四半期決算 参考資料

I. 主な経営指標等の推移		III. 財政の状況	
1. 経営成績P. 1	四半期貸借対照表P. 5
2. 財政状態P. 1		
II. 損益の状況		IV. 設備投資の状況P. 6
1. 四半期損益計算書P. 2		
2. 製商品売上高P. 3	V. 非資金項目P. 6
3. 売上原価P. 4		
4. 研究開発費P. 4	【予想数値に関する注意事項】P. 6

※ 本資料の数字は、百万円未満を切捨てて表示しております。

2011年7月28日

I. 主な経営指標等の推移

1. 経営成績

(単位：百万円)

	2011年3月期				2012年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	対前年同期増減(率：%)
	(累計)	(累計)	(累計)	(累計)		
売上高	11,378	22,441	34,473	45,335	11,776	398 (3.5)
営業利益	1,802	3,066	4,828	1,844	1,137	△665 (△36.9)
経常利益	1,865	3,161	4,989	2,015	1,179	△685 (△36.8)
四半期(当期)純利益	970	1,747	2,852	937	703	△266 (△27.4)
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	34.27	61.74	100.78	33.11	24.87	△9.40 (△27.4)
自己資本四半期(当期)純利益率 (%)	1.3	2.3	3.8	1.3	0.9	△0.4 —
総資産経常利益率 (%)	2.2	3.7	5.8	2.4	1.4	△0.8 —
売上高営業利益率 (%)	15.8	13.7	14.0	4.1	9.7	△6.1 —

(単位：百万円)

2012年3月期予想	
	対前期増減(率：%)
売上高	48,800 3,464 (7.6)
営業利益	2,700 855 (46.4)
経常利益	2,900 884 (43.9)
四半期(当期)純利益	1,300 362 (38.7)
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	45.93 12.82 (38.7)
自己資本四半期(当期)純利益率 (%)	— — —
総資産経常利益率 (%)	— — —
売上高営業利益率 (%)	— — —

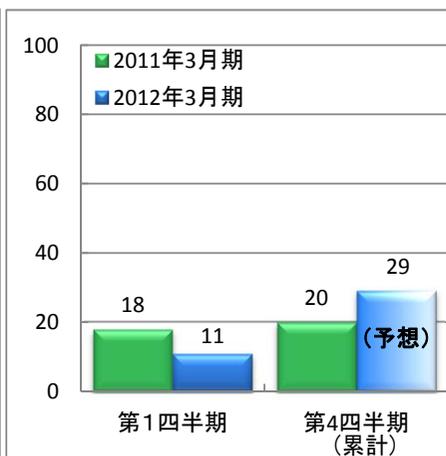
売上高 (億円)



営業利益 (億円)



経常利益 (億円)



四半期(当期)純利益 (億円)



2. 財政状態

(単位：百万円)

	2011年3月期				2012年3月期	
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	対前期末増減(率：%)
総資産	83,912	85,813	85,997	84,885	84,732	△153 (△0.2)
純資産	74,957	75,717	76,216	74,246	74,362	116 (0.2)
自己資本比率 (%)	89.3	88.2	88.6	87.5	87.8	0.3 —
1株当たり純資産 (円)	2,648.47	2,675.34	2,692.99	2,623.38	2,627.51	4.13 (0.2)

Ⅱ. 損益の状況

1. 四半期損益計算書

(単位：百万円)

	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期		2011年 3月期	主な増減要因
		第1四半期	対前年同期増減(率：%)		
売上高	11,378	11,776	398 (3.5)	45,335	
製商品売上高	11,312	11,719	406 (3.6)	45,094	【製商品売上高】 《増加要因》・レミッチカプセル、ツルバダ配合錠の増加 《減少要因》・注射用フサンの減少
不動産賃貸収入	65	57	△ 8 (△ 12.7)	240	
売上原価	4,629	4,834	205 (4.4)	18,602	
製商品売上原価	4,611	4,818	207 (4.5)	18,521	【製商品売上原価】 《増加要因》・売上高の増加
不動産賃貸原価	18	16	△ 2 (△ 11.1)	81	
売上総利益	6,748	6,941	192 (2.9)	26,732	
販売費及び一般管理費	4,945	5,803	858 (17.4)	24,887	【販売費及び一般管理費】 《増加要因》・研究開発費の増加
営業利益	1,802	1,137	△ 665 (△ 36.9)	1,844	
営業外収益	69	49	△ 20 (△ 28.8)	210	
営業外費用	7	7	0 (5.0)	39	
経常利益	1,865	1,179	△ 685 (△ 36.8)	2,015	
特別利益	—	—	—	2	
特別損失	149	29	△ 120 (△ 80.3)	178	【特別損失】 《減少要因》・前期：資産除去債務会計基準の適用に伴う影響
税引前四半期(当期)純利益	1,715	1,150	△ 565 (△ 33.0)	1,839	
法人税等	745	446	△ 299 (△ 40.2)	901	
四半期(当期)純利益	970	703	△ 266 (△ 27.4)	937	

2. 製商品売上高

鳥居薬品株式会社

(単位：百万円)

(単位：百万円)

品名	2011年3月期 第1四半期	第1四半期	2012年3月期		2011年 3月期	2012年3月期予想		
			対前年同期増減(率：%)			対前期増減(率：%)		
ツルバダ配合錠 抗ウイルス化学療法剤 〔抗HIV薬〕	1,948	2,276	327	(16.8)	8,252	10,470	2,217	(26.9)
レミッチカプセル 経口そう痒症改善剤	1,618	2,256	638	(39.4)	7,366	8,790	1,423	(19.3)
アンテベート ※ 外用副腎皮質ホルモン剤	1,618	1,658	39	(2.5)	6,247	6,690	442	(7.1)
注射用フサン ※ 蛋白分解酵素阻害剤	1,559	1,228	△ 330	(△ 21.2)	5,829	5,050	△ 779	(△ 13.4)
ユリノーム錠 ※ 尿酸排泄薬 〔高尿酸血症治療剤〕	882	820	△ 62	(△ 7.1)	3,425	3,140	△ 285	(△ 8.3)
ドボネックス軟膏 尋常性乾癬治療剤	475	477	2	(0.5)	1,749	1,990	240	(13.7)
ビオスリー 活性生菌製剤 〔整腸剤〕	385	407	22	(5.8)	1,593	1,710	116	(7.3)
ゼフナート 抗真菌薬	380	381	1	(0.3)	1,387	1,470	82	(6.0)
ロコイド ※ 外用副腎皮質ホルモン剤	366	368	2	(0.7)	1,315	1,330	14	(1.1)
セロトーン 5-HT ₃ アンタゴニスト(制吐剤)	565	350	△ 214	(△ 38.0)	1,846	1,330	△ 516	(△ 28.0)
ケイキサレート ※(注2) 高カリウム血症改善剤	224	317	93	(41.6)	959	1,650	690	(72.0)
マグセント注 切迫早産における子宮収縮抑制剤	272	275	2	(1.0)	1,174	1,260	85	(7.3)
ウブレチド錠 ※ コリンエステラーゼ阻害薬	272	259	△ 13	(△ 4.9)	1,049	1,030	△ 19	(△ 1.8)
その他	742	640	△ 101	(△ 13.7)	2,898	2,660	△ 238	(△ 8.2)
計	11,312	11,719	406	(3.6)	45,094	48,570	3,475	(7.7)

(注1) 自社品には、品名に※を付しております。

(注2) 2011年2月から「ケイキサレート散」の新しい剤形として開発した「ケイキサレートドライシロップ」の販売を開始しております。

【参考】	自社品売上高	5,181	4,896	△ 285	(△ 5.5)	19,865	19,960	94	(0.5)
	自社品比率(%)	45.8	41.8	△ 4.0	—	44.1	41.1	△ 3.0	—

3. 売上原価

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2011年3月期 第1四半期	第1四半期	2012年3月期	
			対前年同期増減(率：%)	
売上高	11,378	11,776	398	(3.5)
売上原価	4,629	4,834	205	(4.4)
売上原価率 (%)	40.7	41.1	0.4	—

2011年 3月期		2012年3月期予想	
		対前期増減(率：%)	
45,335	48,800	3,464	(7.6)
18,602	20,500	1,897	(10.2)
41.0	42.0	1.0	—

4. 研究開発費

(単位：百万円)

(単位：百万円)

	2011年3月期 第1四半期	第1四半期	2012年3月期	
			対前年同期増減(率：%)	
研究開発費	411	982	570	(138.5)

2011年 3月期		2012年3月期予想	
		対前期増減(率：%)	
5,994	5,985	△ 9	(△ 0.2)

【主な臨床開発品目】

開発名	予定適応症等	開発段階	備考
T0-194SL	スギ花粉アレルギーエキスをを用いた舌下投与による減感作(免疫)療法薬	国内 PhaseⅢ	自社開発
TRK-820 (レミツカプセル)	慢性肝疾患に伴う難治性そう痒症改善剤(適応拡大)	国内 PhaseⅢ	東レ株式会社および日本たばこ産業株式会社との共同開発
JTT-751	高リン血症治療薬	国内 PhaseⅢ	日本たばこ産業株式会社との共同開発

Ⅲ. 財政の状況

四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	2011年 3月期	2012年3月期 第1四半期		2011年 3月期 第1四半期	主な増減要因
			対前期末増減(率：%)		
流動資産	68,563	68,462	△ 100 (△ 0.1)	68,573	
現金及び預金	11,773	12,812	1,038	6,910	
キャッシュ・マネージメント ・システム預託金(注)	12,071	11,260	△ 811	27,990	
受取手形及び売掛金	18,435	18,676	241	17,285	【受取手形及び売掛金】 《増加要因》・売上高の増加
有価証券	19,580	18,000	△ 1,579	10,197	【有価証券】 《減少要因》・債券の償還
たな卸資産	5,377	6,343	966	5,282	【たな卸資産】 《増加要因》・売上増加に伴う商品在庫の増加
その他	1,326	1,369	42	906	
固定資産	16,322	16,270	△ 52 (△ 0.3)	15,338	
有形固定資産	5,671	5,601	△ 69 (△ 1.2)	6,178	
無形固定資産	683	665	△ 18 (△ 2.6)	705	
投資その他の資産	9,968	10,003	35 (0.4)	8,454	
投資有価証券	4,229	4,178	△ 50	3,323	
長期前払費用	3,149	3,208	59	3,599	
その他	2,589	2,615	26	1,532	
資産合計	84,885	84,732	△ 153 (△ 0.2)	83,912	
流動負債	9,612	9,433	△ 178 (△ 1.9)	7,674	【買掛金】 《増加要因》・商品仕入による増加
買掛金	3,816	5,560	1,743	3,723	
未払法人税等	1,050	462	△ 587	770	【未払法人税等】 《減少要因》・法人税等の支払
賞与引当金	1,158	611	△ 546	589	【賞与引当金】 《減少要因》・夏季賞与支払
その他	3,586	2,798	△ 787	2,590	
固定負債	1,027	935	△ 91 (△ 8.9)	1,280	
負債合計	10,639	10,369	△ 269 (△ 2.5)	8,954	
株主資本	74,146	74,283	137 (0.2)	74,745	
評価・換算差額等	100	79	△ 20 (△ 21.0)	211	
純資産合計	74,246	74,362	116 (0.2)	74,957	
負債純資産合計	84,885	84,732	△ 153 (△ 0.2)	83,912	

(注) 「キャッシュ・マネージメント・システム預託金」は、JTグループにおいて国内グループ会社を対象としたキャッシュ・マネージメント・システムを統括している日本たばこ産業(株)への資金の預託であります。

IV. 設備投資の状況

(単位：百万円)

	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期	
		第1四半期	対前期増減(率：%)
有形固定資産(注1)	145	161	15 (10.6)
無形固定資産(注2)	92	39	△ 53 (△ 57.8)
計	237	200	△ 37 (△ 15.9)

(単位：百万円)

2011年 3月期	2012年3月期予想	
		対前期増減(率：%)
516	419	△ 97 (△ 18.9)
280	310	29 (10.5)
797	729	△ 68 (△ 8.5)

(注1) 当期の有形固定資産に係る設備投資は、主に製品品質・生産性の向上を目的とする製造設備への投資であります。

(注2) 当期の無形固定資産に係る設備投資は、主に営業サポートシステム等、業務の効率化を目的とするソフトウェアへの投資であります。

V. 非資金項目

(単位：百万円)

	2011年3月期 第1四半期	2012年3月期 第1四半期
減価償却費	333	287
長期前払費用償却費	162	166

【予想数値に関する注意事項】

本資料に記載しております予想数値は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、リスクや不確実な要素を含んでおります。したがって、実際の業績は、様々な要素により、これらの予想数値とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。また、新たな情報、将来の事象、その他の結果に関わらず、常に当社が、将来の見直しを見直すとは限りません。

なお、現時点において、実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、以下のような事項を挙げることができます。(かかるリスクや不確実な要素はこれらの事項に限定されるものではありません。)

- ◇ 薬事法その他の法令または規制の変化
- ◇ 薬価の改定
- ◇ 副作用の発現
- ◇ 研究開発の遅延または中止
- ◇ 製商品の供給停止
- ◇ 訴訟の提起